(第2回) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 6年12月27日
契約業者名	東邦建設(株)
契約業者の住所	千葉県成田市吉倉150-18
工事の名称	R5圏央道神崎下総地区改良工事
工事場所	千葉県成田市高地先
工事種別	一般土木工事
工事概要	道路土工(掘削工(ICT)一式、路床盛土工(ICT)3,000m ³) 地盤改良工(固結工485m ³) 石・ブロック積(張)工(作業土工一式、コンクリートブロック工一式) 排水構造物工(管渠工492m) 応急処理工(応急処理工一式) 構造物撤去工(道路附属物撤去工一式) 仮設工(土留・仮締切工一式、防護施設工一式、交通管理工一式) 共通仮設費(運搬費一式、営繕費一式、技術管理費一式)
工期(自)	令和 5年12月18日
工期(至)	令和 6年12月27日
変更前の契約金額	251,900,000円(税込み)
変更金額	+ 137,720,000円(税込み)
変更後の契約金額	389,620,000円(税込み)

変 更 理 由

1. 道路土工
当初特記仕様書第34条に基づき、ICT施工を実施し掘削工（ICT）、路床盛土工（ICT）を増工する。
2. 地盤改良工
現地調査の結果、軽量盛土施工時の仮設において鋼矢板での施工が困難であるため、軽量盛土下の地盤改良を実施し、中層混合処理を追加する。
3. 石・ブロック積工
現地調査の結果、坂路が認められたため、法面のブロック積擁壁の作業を実施する。また、当初裏込め材として流用土を想定していたが、NEXCO要領に基づき、裏込めPとするため、コンクリートブロック工を追加する。
4. 排水構造物工
関係機関協議の結果、高密度ポリエチレン管についてNEXCO仕様の排水管を採用し、管渠工を増工する。
5. 応急処理工
当初特記仕様書第95条に基づき、実績を精査した結果、応急処理工を増工する。
6. 構造物撤去工
現地調査の結果、軽量盛土設置時に支障となる構造物を撤去し、道路附属物撤去工を追加する。
7. 仮設工
当初、軽量盛土を行うための仮設を概算概略発注しており、設計成果に基づき土留・仮締切工を追加する。また、本線に残存する目隠しフェンスを撤去し、防護柵工を追加する。交通誘導警備員を実績に基づき計上し、交通管理工を増工する。
8. 共通仮設費
上記の変更に伴い、運搬費、営繕費を追加し、技術管理費を増工する。
9. 工期は元設計のとおりとする。